

問1 日本列島の北西に位置するユーラシア大陸上で冬に発達する「シベリア気団」が持つ空気の性質について、正しい組み合わせを答えなさい。

(2022年 愛知県公立入試 類似)

1. 高温で乾燥している                      2. 低温で湿潤である                      3. 低温で乾燥している                      4. 高温で湿潤である

問2 日本付近を通過する温帯低気圧の構造と移動の様子について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)

1. 進行方向の前後に前線は持たず、季節風の影響を受けて南から北へ移動する                      2. 進行方向の東側に温暖前線、西側に寒冷前線をともない、偏西風の影響で西から東へ移動する                      3. 進行方向の西側に温暖前線、東側に寒冷前線をともない、貿易風の影響で東から西へ移動する                      4. 中心付近に温暖前線と寒冷前線が重なった状態で発生し、自転の影響で北から南へ移動する

問3 ある地点において、地上の気温が30度、湿度が64パーセントの空気の塊が上昇して雲ができるとき、雲ができ始める高度として適切な数値を選びなさい。なお、この地点では高度が100メートル上がるごとに気温が1度下がるものとし、気温30度のときの飽和水蒸気量は30.4g/立方メートル、気温22度のときの飽和水蒸気量は19.5g/立方メートルとします。 (2021年 奈良県公立入試 類似)

1. 1600メートル                      2. 400メートル                      3. 1200メートル                      4. 800メートル

問4 密閉したビニル袋の中の空気を抜く操作を行い、袋の中の温度が22.5度から20.7度になったところ、袋の中が白くくもりました。この現象が起きた理由として正しい説明はどれですか。 (2024年 島根県公立入試 類似)

1. 袋の中の圧力が変化することで、空気中の窒素が液体に変わったため。                      2. 袋の中の温度が沸点に達し、空気中の水蒸気が急激に増えたため。                      3. 袋の中の温度が露点に達し、空気中の水蒸気が水滴に変わったため。                      4. 袋の中の温度が融点に達し、袋の内側に付着していた氷が水に変わったため。

問5 気象観測において、空全体を10としたときに雲が占める割合である「雲量」が2以上8以下のとき、その地点の天気は「晴れ」と定義される。この「晴れ」の状態を天気図上で簡潔に表すための天気記号はどのようなものか。 (2019年 京都府公立入試 類似)

1. 円の中にもう一つの円を描いた二重丸のもの                      2. 円の中に縦線が1本入ったもの                      3. 何も描き込まれていない白い円                      4. 円の中をすべて黒く塗りつぶしたものの

問6 少量の水と線香の煙を入れた丸底フラスコにピストンを取り付け、ピストンを素早く引くとフラスコ内が白くくもる実験があります。これと同じ「気圧の変化による温度低下」が自然界で起こり、雲ができるきっかけとなる上昇気流について、その発生原因として正しいものはどれですか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)

1. 山を越えた風が斜面を吹き下ろすとき、空気が圧縮されるため上昇気流が発生する。                      2. 高気圧の中心付近では、上空から地表に向かって空気が流れるため上昇気流が発生する。                      3. 太陽の光によって地面があたためられ、周辺の空気が加熱されて密度が大きくなることで上昇気流が発生する。                      4. 寒冷前線において、寒気が暖気の下に潜り込み、暖気を急激に押し上げることで上昇気流が発生する。

問7 日本付近において、初夏の時期に停滞前線が長く留まることによって生じる、長雨の現象を何と呼びますか。 (2022年 石川県公立入試 類似)

1. 秋雨                      2. 梅雨                      3. 夕立                      4. 春一番

問8 空気中の水蒸気が冷やされて水滴に変わり始める現象を凝結といいますが、このときの温度を何といいますか。また、その温度における空気の状態についての説明として正しいものを選びなさい。 (2020年 山梨県公立入試 類似)

1. 融点といい、実際の水蒸気量がその温度での飽和水蒸気量よりも多くなっている。                      2. 露点といい、実際の水蒸気量がその温度での飽和水蒸気量よりも少なくなっている。                      3. 露点といい、実際の水蒸気量がその温度での飽和水蒸気量と等しくなっている。                      4. 湿球温度といい、実際の水蒸気量がその温度での飽和水蒸気量と等しくなっている。

問9 乾湿計を用いてある場所の湿度を調べたところ、乾球の示度が16.0℃であり、湿度表から湿度が50%であることがわかりました。このときの乾球と湿球の示度の差が5.0℃である場合、湿球が示している温度として正しいものを選択しなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)

1. 16.0℃                      2. 5.0℃                      3. 21.0℃                      4. 11.0℃

問10 大気の動きと気象現象について、上昇気流が最も発生しやすい場所はどこですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)

1. 氷などによって地表付近の空気が強く冷やされている地域                      2. 高気圧の中心付近                      3. 暖気と寒気がぶつかり合う境界付近                      4. 風が山を越えて吹き下りてくる斜面

問11 ある日の日本付近は太平洋高気圧に広く覆われ、宮崎市付近の気圧が1010hPaを示し、南から暖かい空気が流れ込んで全国的に晴れて気温が高くなりました。このときの気圧配置や季節の特徴について説明した文として最も適切なものを1つ選んでください。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)

1. 日本付近に停滞前線が長く伸びて長雨が続く梅雨の時期の特徴です。                      2. 太平洋高気圧が強まり、日本付近が広く覆われる夏の時期の特徴です。                      3. 西高東低の気圧配置となり、北西からの冷たい季節風が強まる冬の時期の特徴です。                      4. 移動性高気圧と低気圧が交互に西から東へ通過する春や秋の時期の特徴です。

問12 高度による大気圧の変化について、高度が高くなるほど大気圧が低下する理由を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 長野県公立入試 類似)

1. 高度が上がると、太陽に近づくことで空気が加熱されて膨張し、上空に逃げてしまうため。                      2. 高度が上がると、気温が低下して空気の分子が激しく運動し、周囲を押し出す力が弱まるため。                      3. 高度が上がると、重力が強くなり、空気が地表付近に引き寄せられて上空の空気が薄くなるため。                      4. 高度が上がると、その地点より上にある空気の量が少なくなり、空気の重さが減るため。

問13 面積が200平方センチメートルの紙が、水平な机の上に置いてある。この場所の大気圧が1000ヘクトパスカルであるとき、この紙の真上にある空気の質量は何kgに相当するか。ただし、100グラムの物体にはたらく重力の大きさを1ニュートンとし、1ヘクトパスカルは100パスカル（100ニュートン毎平方メートル）とする。 (2025年 広島県公立入試 類似)

1. 2kg                      2. 2000kg                      3. 200kg                      4. 20kg

問14 6月から7月にかけての初夏の時期、勢力がほぼ等しい暖気団と寒気団が日本付近でぶつかり合い、勢力が拮抗することで特定の場所に長期間とどまる性質を持つ前線を何というか、その名称を答えなさい。 (2025年 高知県公立入試 類似)

1. 停滞前線                      2. 閉塞前線                      3. 温暖前線                      4. 寒冷前線